

---

---

## 塩山北中学区ブロック交流研究会

---

---

# 「小中の連携をはかり、 塩山北中学校区の子どもたちを育てていこう」

### I 主題設定の理由

塩山北中ブロックでは、これまで「地域で子どもを育てよう」という考えのもと、教職員同士の連携を計ってきた。多くの児童が同じ中学に入学し、同級生となっていく。その中で、地域の様子や子どもの実態を知る上で小・中の連携は、不可欠である。児童から生徒への成長や、既習の学習内容・授業規律などを知り、児童・生徒同士、教師同士、児童・生徒と教師の交流を図ることで、一人一人により教育効果の高い教育活動を行うことができる。学校・地域・保護者の連携の必要性が述べられる中で、中学区全体で塩山北中ブロックの児童・生徒を育てていこうと考え、本主題を設定した。

### II 研究の具体的内容

#### 1 第1回ブロック交流研究会（小中連携の学習会と臨地研修）

(1) 日時 平成28年8月5日（水） 13:30～16:30

(2) 目的 先進校の小中連携について学び、教科と生活の2つのグループに分かれることや情報交流を行う。  
市内の歴史、文化や自然、施設について講師の先生から学び、子どもの地域学習と、教職員の地域理解に役立てる。

(3) 内容

大藤公民館で学習会を行ったあと大藤地区の慈雲寺・法正寺・周林寺の見学をする。

（講師：慈雲寺・荻原様，法正寺・新田様，周林寺・樋口様）

#### 2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成28年11月16日（水） 14:10～16:40

(2) 場所 玉宮小学校

(3) 内容

##### ア 授業参観

・2・3・5・6年の授業公開。

##### イ 全体研究会

・玉宮小の校内研修と取組について

・本日の授業について

・情報交換

①小学校三校の「活力ある学校教育推進事業」の指定の様子について

②各学校の自主学習について

③各校の特色ある取り組みについて

### 3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成29年1月16日(月) 14:10～16:40

(2) 場所 塩山北中学校

(3) 内容

ア 授業参観 全校合唱練習「春風の中で」

イ 合同練習会：小学生との合同練習「ふるさと」

ウ 研究会

・本日の授業について

・意見交換と指導助言

## III 成果と課題

### 1 成果

- ・校長先生方のご指導のもと、中学校の先生方の小学校での出前授業、小学生と中学生の交流授業、自主学習ノートの交流による良いところの取り入れなど小中連携を一段と進めることができた。
- ・小学校三校は「活力ある学校教育推進事業」の指定を受けている。玉宮小学校の授業参観で iPad を使った授業を中学校の先生に見ていただくことで卒業生の中学校での生活につなげることもできた。
- ・昨年度雪で中止となった、小学生が中学校へ行って合同授業をすることと教師が中学校の指導を参観することが実施できてよかった。中一ギャップの解消にもなった。
- ・教材化できる地域の史跡や文化財を臨地研修という形で行った。三つの研修場所で住職さんに丁寧に説明を受けることで、充実した研修となった。

### 2 課題

- ・ブロック内で考慮して時期や担当校を計画したが、学校行事がある学校があり当初の年間計画の日程での実施が難しく、日程を変更しなければならなかった。行事の見直しと中学校の1月は大変なので11月への変更も検討していく。
- ・来年度は解消されたが、2回目は校長会と重なり、校長先生が不在の中の実施となった。校長先生無しなので情報交換会に留まった。

## IV 研究方法の工夫

- ・教育事務所から他県の小中連携の資料を取り寄せてそれを参考にして研究会を進めた。小学校から中学校へ「つなげていく」という視点で行い、深まりがあった。
- ・今年度は各校の学習規律・生活のきまりに加えて、自主学習ノートについて情報交換を行ったことで、小中の一貫した指導につなげることができた。
- ・小学校3校が指定を受けて進めている研究により、小学校はTV会議システムで交流をしている。それを中学校に知ってもらうことで、児童がどのような力をつけて中学校に進学するのかを知ってもらい、中学校でさらに伸ばしてもらうという連携ができた。
- ・各小学校6年生が参加して中学生と合同授業をするという企画はとても良かった。

(ブロック長 川野 和昭)